

新たな可能性に挑戦できるまちへ

~OPEN CITY MIYAZAKI~

1. はじめに

宮崎市は、日向灘を北上する黒潮の恵みを受け、温暖な気候と豊かな自然環境に抱かれた都市です。

青く輝く一つ葉海岸から、国の天然記念物である亜熱帯性植物群落が広がる青島、そして風光明媚な日南海岸へと続く海岸線は、私たちの誇りです。この豊かな大地と海は、質の高い農水産物を育み、市民や訪れる人々の食卓を彩ります。また、サーフィンやゴルフといったレジャーを市街地のすぐ近くで楽しめることも、本市の大きな魅力の一つです。しかしながら、全国の多くの都市が直面しているように、本市においても人口減少や少子高齢化の急速な進展が見込まれています。このような時代にあって、将来にわたり市民が安全・安心で快適な生活を送り、まちの活力を維持していくためには、持続的な地域経済の発展と、それを支える戦略的なまちづくりが不可欠であると考えております。

2. 宮崎オープンシティまちづくり計画

県庁所在地である本市には、県外への人口流出を抑制する「ダム機能」が期待されています。そのためには、都市機能の集積を図るとともに、本市ならではの豊かな自然環境を活かした付加価値の創造が重要です。中心市街地である「まちなかエリア」では、近年、大型商業施設の開業やIT企業の集積が進む等、新たな息吹が生まれています。しかし、その一方で平面駐車場等の低未利用地が点在する「都市のスポンジ化」は、依然として大きな課題です。また、郊外部に目を向ければ、開発ニーズが高まっているにもかかわらず、法的

な制約が発展の足かせとなっている側面も否めません。こうした社会経済情勢の変化を的確に捉え、本市の新たな可能性を切り拓くため、このたび「宮崎オープンシティまちづくり計画」を策定しました。

この計画は、その名の通り、投資を促進する「外に開かれた宮崎市」という新たな視点に立つものです。「土地利用制限の緩和による多様な都市機能の集積」、「まちなかの賑わいを創出する個性的で魅力ある空間形成」及び「自然豊かな地域特性を活かした土地利用の最大化」を三つの柱とし、地域経済の持続的発展と、人口増加、さらには交流・関係人口の拡大を目指してまいります。



宮崎オープンシティまちづくり 方向性

3. まちなか投資倍増プロジェクト

「宮崎オープンシティまちづくり計画」の第一弾として、令和6年4月より、中心市街地の活性化を牽引する「まちなか投資倍増プロジェクト」を開始しました。これは、老朽化したオフィスビル等の建て替えを強力に促進するものです。航空



宮崎市長 きよやま とものり
清山 知憲

法による高さ制限がある中で、市民の憩いの空間を創出していただくこと等を条件に、容積率・道路斜線制限の緩和や固定資産税等を軽減するといった優遇措置をパッケージで提供します。橘通り・高千穂通り周辺の約66haを対象に、最大で容積率1,000%、固定資産税等を10年間100%減免するといった、全国でもトップクラスのインセンティブを用意しました。建設コスト高騰という厳しい状況も踏まえ、2033年度までの10年間という長期的な視点で、皆さまの投資を力強く後押ししてまいります。

4. 地域経済の活性化と強靭な国土づくり

まちづくりの取組は、中心市街地だけにとどまりません。観光・リゾートの拠点である、一ツ葉・木花エリアにおいても土地利用規制の緩和を進め、開発基準を明確化することで、民間投資を迅速に呼び込む環境を整えております。飲食店、物販店及びワーケーション施設等、行政によるインフラ投資を前提としない、民間主導のダイナミックな開発を促進してまいります。

こうした発展の基盤となるのが、安全・安心な社会インフラです。南海トラフ巨大地震の津波浸水が想定される本市沿岸部において、津波避難タワーをはじめ、避難路や避難階段等、国や県と連携しながら総合的に防災・減災に取り組んでまいりました。現在、国による「国道10号住吉道路」の事業が進められており、本路線の整備は、信頼性の高い道路ネットワークと、沿岸部の一ツ葉有料道路の代替ルートを確保する「ダブルネットワーク」を構築するものであり、本市の防災・減

災力を飛躍的に向上させるものです。引き続き、国との連携を一層密にし、強靭な地域づくりに全力で取り組んでまいります。



5. おわりに

本市は、将来の都市像として「挑戦し、成長する 開かれたまち～OPEN CITY MIYAZAKI～」を掲げ、市民、そして企業の皆さんとともに、魅力あるまちづくりを進めてまいります。さて、來たる令和8年1月に、宮崎県・宮崎市・一般社団法人全日本建設技術協会の共催による建設技術講習会が、ここ宮崎市で開催されます。講習会では、本日ご紹介した本市のまちづくり政策について、更に詳しくお話ししていただく予定です。また、現場研修では、令和9年に本県で開催される「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」の関連施設をご観察いただけると伺っております。この機会に、南国宮崎の温暖な気候と豊かな食、そして未来に向けて動き出したまちの息吹を、是非肌で感じていただければ幸いです。多くの皆さまのお越しを、心よりお待ちしております。